ご支援のお願い

SUPPORT

昭和医科大学
サポート寄付制度

昭和医科大学
SHOWA Medical University

GREETING
ご挨拶

学校法人昭和医科大学 理事長
小口 勝司

皆様におかれましては、平素より昭和医科大学の教育・研究活動に格別のご支援とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昭和医科大学は昭和3年（1928年）の創設以来、「至誠一貫」の建学の精神を備えた優れた医療人の育成に努めて参りました。現在も、上條秀介博士が掲げた建学の精神である「至誠一貫」を受け継いでいます。

令和10年（2028年）には創立100周年という大きな節目を迎えます。創立100周年の記念事業を展開し、教育・研究・診療のより一層の充実を目指し邁進していく所存です。

昭和医科大学は医系総合大学であることを社会に対して直接的に発信するため、令和7年度より校名を「昭和大学」から「昭和医科大学」に変更しました。医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の4学部と大学院、専攻科、8附属病院、2診療施設を要する医系総合大学としての更なる発展を目指します。

「昭和医科大学サポート寄付制度」は、平成24年（2012年）に創設されました。学校法人事業支援の他、学生への奨学金をはじめとする学生生活サポート、さまざまな分野の研究への活用や施設の設備充実など、ご支援の目的をお選びいただけるシステムです。

創設以来、多くの皆様から深いご理解と温かいご支援が大きな支えとなっております。
同窓生の皆様、学生の保護者の皆様、企業の皆様そして職員をはじめ、多くの関係者の皆様方にご理解をいただき、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

SHOWA MEDICAL UNIVERSITY SUPPORT

ご支援をいただく方の
ご意向に応じて、
多彩な寄付の形態をご用意しております。

寄付の目的一覧

		ご寄付の状況（令和5年度寄付実績）		
Support 01	基　金への寄付	3 件	1,150,000 円	03ページ ▶
Support 02	教育研究への寄付	49 件	42,725,052 円	05ページ ▶
Support 03	医療施設への寄付	29 件	24,598,329 円	07ページ ▶
Support 04	学生支援への寄付	26 件	6,717,000 円	09ページ ▶
Support 05	施設整備への寄付	4 件	1,052,000 円	11ページ ▶
Support 06	創立100周年記念事業への寄付	243 件	190,615,000 円	13ページ ▶
Support 07	大学主催行事への寄付	2 件	150,000 円	14ページ ▶
Support 08	その他（さまざまな用途）への寄付	4 件	630,000 円	14ページ ▶
	総寄付実績	合計件数 360 件	合計金額 267,637,381 円	

Support 01

基　金
への寄付

学びへの意欲に応え、次代につながる人間力を育てたい。

奨学金制度の拡充、継続を目的に資金を積み立て、その運用益を学生等へ還元します。

PICK UP

令和５年度卒業式

531名の卒業生が、医療人として社会へはばたく

パシフィコ横浜国立大ホールで挙行し、医学部123名、歯学部94名、薬学部169名、保健医療学部145名（看護学科90名、理学療法学科36名、作業療法学科19名）合わせて531名が医療人としての門出を迎えました。式典では、在学中に優秀な結果を残した卒業生に贈られる上條賞、同窓会賞、上條旗ケ岡賞の授与も行われました。上條賞は、本学創設者の上條秀介先生からの寄付金をもとに創設されました。表彰は毎年卒業式の中で行われ、盾が贈られます。

PICK UP

医学部附属看護専門学校卒業式

大きな抱負をそれぞれが胸に秘めて

医学部附属看護専門学校卒業式の第58回卒業式を上條記念館で挙行し、143名が卒業を迎えました。式典では、在学中に学業・人物ともに優秀であった卒業生に贈られる鈴木モヨ賞、石井満賞、そして昭桜会賞の授与が併せて行われました。

Support 01

寄　付　項　目

令和５年度寄付実績　3件 1,150,000円

▼基金とは資金を積み立てて、その運用益（預金利子等）を財源に奨学金制度の形で学生等へ還元していくものです。

1－1 上條奨学基金
- 上條奨学賞
- 上條賞

創立者である上條秀介博士からの寄付金を原資としています。主に教員に対する有益な学術研究業績や教育上の功績の表彰および人物優秀かつ学業成績優秀な学生の表彰に充当されます。

1－2 上條旗ケ岡賞基金
- 上條旗ケ岡賞

上條一也学長の逝去に伴い、上條家から寄せられた寄付金をもとに創設されました。在学中、課外活動において本学の名を宣揚せしめ、かつ人物・学業優秀な学生への表彰（卒業時）に充当されます。

1－3 昭和医科大学 奨学・研究奨励基金

令和3年度より開始した給付型のシンシアー奨学金制度や、学部学生が経済的理由などにより修学が困難な状況をサポートする昭和医科大学奨学金制度など、本学の将来を担う優秀な人材を育成するほか、研究費および海外留学諸活動費の補助金等に充当され、優秀な若手研究者を育成することを目的としています。

1－4 鈴木モヨ賞基金
- 鈴木モヨ賞

この基金は、鈴木モヨ昭和医科大学病院総婦長の逝去に伴い、ご遺族からの寄付金を基に創設されました。
昭和医科大学医学部附属看護専門学校学生で、在学中における学業・人物優秀者の表彰（卒業時）に充当されます。

1－5 石井満賞基金
- 石井満賞

この基金は、石井満昭和医科大学医学部附属看護専門学校主事の逝去に伴い、ご遺族からの寄付金を基に創設されました。
昭和医科大学医学部附属看護専門学校学生で、在学中における学業・人物優秀者の表彰に充当されます。

1－6 武重優秀クラブ賞基金
- 武重優秀クラブ賞

この基金は、武重千冬学長の逝去に伴い、武重家から寄せられた寄付金をもとに創設されました。
学生の課外活動において、本学の名を宣揚せしめ、かつ優秀な成績をあげたクラブ・団体への表彰に充当されます。

Support 02

教育研究
への寄付

最先端の研究活動を支え、未来の価値をともに創造したい。

脈々と受け継がれてきた本学の探究心。
幅広い分野で先進の研究に取り組んでいます。

PICK UP

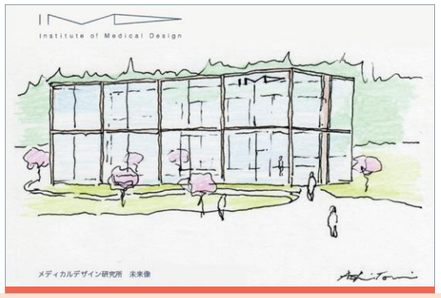
チーム医療教育

全学年にわたる継続的なカリキュラムで実践的なチーム医療人を育成

全学部教育職員および附属病院が連携して構築する昭和医科大学独自の『チーム医療』プログラム。初年次全寮制による学部の垣根を越えた生活から始まり、初年次体験実習、PBLチュートリアル、学部連携病棟実習、最終年度の選択実習まで年次のステップに合わせて、学習の場と内容を広げていく継続的なカリキュラムは国内でも数少ないものです。多くの医療現場で異なる学部の学生がチームとなり、お互いの専門知識やスキルを共有し、時代のニーズに対応できる医療人の育成に取り組んでいます。

PICK UP

研究所



3つの研究所を設立

令和6年度は、メディカルデザイン研究所、臨床疫学研究所、細胞外マトリックス研究所の3つの研究所を設立しました。その中でメディカルデザイン研究所は、昭和医科大学と多摩美術大学が連携して「医術と美術の連携による医療現場のQOLの向上」に資することを目的として設立されました。これから医療とデザインの専門性の融合と相乗効果により、新しい価値を生み出していきます。

Support 02

寄付項目

令和5年度寄付実績　49件　42,725,052円

▼ 本学（本法人が設置する専修学校を含む）の教育研究の維持向上をはかるための資金として使用される寄付金です。

2－1 教育研究協力資金

教育研究の充実に向けて本学は財政基盤の強化に取り組んでおります。しかしながら、国庫補助金の削減や医療費の抑制など、私立の医系大学を取り巻く情勢は年々厳しさを増しております。教育研究協力資金としてご寄付いただいた資金は、教育研究の充実、発展および施設設備の整備充実を図るための資金として活用させていただきます。

2－2 医学部
2－3 歯学部
2－4 薬学部
2－5 保健医療学部　看護学科
2－6 保健医療学部　リハビリテーション学科 理学療法学専攻
2－7 保健医療学部　リハビリテーション学科 作業療法学専攻

本学は4学部、6学科を擁する医系総合大学です。「至誠一貫」の建学の精神に基づき、各学部・各学科から多くの専門家を輩出してきました。専門領域の深化と連携をはかり、知の新たな創造を目指すことを使命として、教育に取り組んでおります。

2－8 大学院医学研究科
2－9 大学院歯学研究科
2－10 大学院薬学研究科
2－11 大学院保健医療学研究科

本学大学院は4研究科を擁し、さらなる高度な専門知識と技術を身につけ、さらに応用・発展を目指す医療従事者・研究者を輩出しています。大学院保健医療学研究科では、診療放射線領域、臨床栄養学領域、臨床検査学領域を新設し、より専門能力の高い実践指導者や教育者の育成に取り組んでいます。

2－12 助産学専攻科

助産学の分野についての豊かな学識を養い、安全で質の高い助産ケアを提供する高度な専門職業人を養成しています。

2－13 富士吉田教育部

昭和40年（1965年）にはじめた山梨県富士吉田キャンパスでの「初年次全寮制教育」は、本学の教育システムの中でも最も特色があります。1年間の寮生活において培われた成果は、将来医療人として欠かせない問題解決能力の育成と、全人的医療の実践に大きく貢献しています。

2－14 医学部附属看護専門学校

本学には、医学部附属看護専門学校が設置されており、人間性豊かな医療人を育てるため、より実践的な教育が行われています。

2－15 図書館

図書館では教育・研究に不可欠な資料の収集、保存ならびに提供をしています。蔵書数は医系総合大学にふさわしく関連領域の資料約30万冊をそろえており、電子化資料の導入により学生・教育職員の利便性拡大に取り組んでいます。また、昭和医科大学の学術成果（学内発行雑誌、学位論文等）を集積する場をインターネット上に無償で公開し、学術の発展に寄与しています。

2－16 研究所

本学における研究の一層の充実のため、以下の11の機関を研究所とし、最新の研究に取り組んでいます。

- 先端がん治療研究所（旗の台キャンパス内）
- 発達障害医療研究所（烏山病院内）
- 富士山麓自然・生物研究所
- 脳機能解析・デジタル医学研究所
- 臨床疫学研究所
- 臨床薬理研究所（烏山病院内）
- スポーツ運動科学研究所（藤が丘リハビリテーション病院内）
- 臨床ゲノム研究所
- ストレスマネジメント研究所
- メディカルデザイン研究所
- 細胞外マトリックス研究所

2－17 各講座・研究室「奨学寄附金」

各研究室に所属する研究者たちは、それぞれの専門分野をベースに、他の分野の研究者とも切磋琢磨しながら研究を進め、これらの研究成果は、新たな治療法の確立、新薬開発への礎として臨床で応用されています。

2－18 教育職員等「奨学寄附金」

本学の教育職員への研究活動へのご支援や、その他職員へのご支援についても、ご意向に沿った形で活用させていただきます。

Support 03

医療施設
への寄付

優れた医療人を育成するために、その根幹となる医療施設を充実したい。

医学教育の中核となる病院施設。
その充実こそが医療人としての将来の力につながります。

PICK UP

昭和医科大学横浜市北部病院

小児病棟リニューアル

令和6年3月に横浜市北部病院の小児病棟のリニューアル工事が完了しました。この工事は、病床数を増加し、プレイルームも充実させております。小児病棟の治療環境を向上させ、保護者の方だけでなく、赤ちゃんも安心してご利用いただけるようにするためのものです。これからも、医療の質の向上と患者さんおよびご家族の快適さを追求し、地域の皆様にとって信頼できる医療機関となるよう努めてまいります。

PICK UP

昭和医科大学江東豊洲病院

江東豊洲病院開院10周年

令和6年3月に江東豊洲病院は開院10周年を迎えました。都市開発と人口増加が進む江東区臨海地域の中核病院として「女性とこどもにやさしい病院」を基本理念に掲げ、二次救急医療や災害拠点病院、地域周産期母子医療センターとして、また臨床教育・研究の拠点として医療、教育、研究のより一層の充実を目指します。

Support 03

寄付項目

令和5年度寄付実績　29件　24,598,329円

3－1 昭和医科大学病院

〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8
TEL.03-3784-8000［許可病床数 総数815床］

厚生労働省より「特定機能病院」の承認を受け、高度医療の提供、高度医療技術の開発・評価、高度な医療安全管理体制などを実践しています。さらに三次救急医療機関として東京・城南地区における中核病院の役割を果たすとともに、大学附属病院として「医療人の育成」「研究活動」にも積極的に取り組んでいます。

3－2 昭和医科大学病院 附属東病院

〒142-0054 東京都品川区西中延2-14-19
TEL.03-3784-8000［許可病床数 総数199床］

高度急性期医療を担う昭和医科大学病院と緊密な連携を保ちながら、患者さんの受入れや継続した治療にあたっています。また、急性期病院として質の高い医療を提供するとともに、大学附属病院の使命である「医療人の育成」「研究活動」についても積極的に取り組んでいます。

3－3 昭和医科大学 藤が丘病院

〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30
TEL.045-971-1151［許可病床数 総数584床］

横浜北部エリアと隣接地域の中核病院・三次救急医療機関として高度な先進医療を提供しています。
研修医に向けた独自のスキルアップセミナーを実施する等、卒後臨床教育の充実を図るとともに、研究棟を活用した積極的な研究活動を実践しています。

3－4 昭和医科大学 藤が丘リハビリテーション病院

〒227-8518 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2-1-1
TEL.045-974-2221［許可病床数 総数197床］

1990年に都市型リハビリテーション病院として開院。
隣接する藤が丘病院や同市内の横浜市北部病院だけでなく、全ての附属病院と密接な連携を保ちながら、最新のリハビリ施設と医療システムを駆使して、患者さんの早期回復、社会復帰を援助しています。

3－5 昭和医科大学 横浜市北部病院

〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
TEL.045-949-7000［許可病床数 総数689床］

2001年、横浜・港北ニュータウンの中心部に開設。横浜市の北部医療圏の急性期医療を担う役割を果たしています。また甲状腺センターや女性骨盤底センターを開設し、専門医療の拡充も図っています。大学附属病院としてこれからの時代を担う医療者育成のため、研修医や専攻医の教育・指導だけでなく、メディカルスタッフ全体の育成と教育を行っています。

3－6 昭和医科大学 江東豊洲病院

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38
TEL.03-6204-6000［許可病床数 総数400床］

昭和医科大学附属豊洲病院の移転・拡張により、2014年3月に東京湾ウォーターフロントに開院。小児医療と周産期医療に重点を置いた「女性とこどもにやさしい医療」を提供しています。高度で先進的医療を提供する大学附属病院として医師および看護師、その他医療人の育成と教育を行っています。

3－7 昭和医科大学 附属烏山病院

〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
TEL.03-3300-5231［許可病床数 総数340床］

1951年に本学附属病院となり、精神科領域の教育・研究に貢献してきました。診療では、発達障害、依存症、認知症など多数の分野で専門的医療を実践し、東京都区西南部における精神科医療の中核を担っています。

3－8 昭和医科大学歯科病院
昭和医科大学歯科病院内科クリニック

〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL.03-3787-1151［許可病床数 総数22床］

1977年、歯学部の附属病院として洗足キャンパスに設置され、卒前・卒後の臨床の場として社会に求められる臨床歯科医を養成しています。また地域歯科医療の中核として大きな実績を上げています。

3－9 昭和医科大学 豊洲クリニック

〒135-0061 東京都江東区豊洲5-5-1
豊洲シエルタワー 3階 TEL.03-3531-9920

［予防医学センター］
江東豊洲病院と連携し、放射線画像診断などは放射線科と専門医による2重読影で診断をしています。病気の予防と早期発見の推進に向け、人間ドック・健康診断など安心かつ精度の高い検査をしています。

Support 04

学生支援への寄付

有意義な学生生活を支え、昭和医大での感動をより価値あるものへ。

国際交流や部活動など、さまざまな活動をサポートします。

PICK UP

クラブ活動

クラブ活動での活躍が顕著なのも本学の大きな特徴

昭和医科大学は、医療系大学でありながら、クラブ活動がさかんです。アイスホッケー部は令和6年度関東大学アイスホッケーリーグ3部優勝を勝ち取りました。今年度は2部リーグで戦い、優勝を目指しています。そして、馬術部は「第60回全日本医歯薬学生馬術定期戦」で総合優勝を果たしました。定期戦の優勝は5年ぶりとなりました。

PICK UP

国際交流

グローバル教育実践に向けて、さまざまなサポートを

昭和医科大学では留学生の受入れや本学学生の海外実習・研修が活発に行われています。学生のグローバル教育をサポートするため、海外実習・研修の支援を行うとともに、留学生交流会、チャットクラブ、ワンデーツアーなどを行い、本学学生と留学生の交流機会を提供しています。これからも多くの学生を積極的にサポートし、国際的な視野を持った医療人育成を目指します。

寄付項目

令和5年度寄付実績 26件 6,717,000円

4－1 学生等の保健管理

学生・職員の健康を担う保健管理センターでは、保健管理に関する専門的業務を行い、健康の保持促進を図っています。

4－2 学生等の留学・国際交流

国際交流センターではさまざまな海外研修やプログラムを用意しています。また学生が国際交流の機会を得られるよう経費の面からサポートするため学生海外実習・研修に係る奨学金制度が設けられています。

4－3 昭和医科大学公認クラブ

学校公認の計69クラブ（体育系47団体、文化系22団体）の中には、救急医療研究部や白馬診療部、北岳診療部、漢方生薬研究会、歯科医療研究会、薬理学研究会など本学の特色を生かした医療系クラブがあります。1年次の学生は、ほぼ全員がクラブに所属し、複数のクラブを掛け持ちする学生もおり、文武両道の学生生活を実践しています。

体連所属団体	バスケットボール部	バレーボール部	ハンドボール部	柔道部	剣道部	空手道部
	陸上競技部	サッカー部	ラグビー部	アメリカンフットボール部	馬術部	水泳部
	アイスホッケー部	山岳･ワンダーフォーゲル部	アマチュアボクシング部	ボウリング部	応援指導部	M硬式野球部
	M準硬式野球部	M硬式庭球部	M軟式庭球部	M卓球部	M弓道部	Mスキー部
	D準硬式野球部	D硬式庭球部	D弓道部	Dゴルフ部	Dスキー部	P硬式庭球部
	Pバドミントン部	自動車部	ダンス部	P弓道部	Pスキー部	MDバドミントン部
	MPゴルフ部	DPNR軟式庭球部	DP卓球部	PNR準硬式野球部	NRバスケットボール部	NRバレーボール部
	NRバドミントン部	NR剣道部	NRアルティメット部	NRソフトボール部	NRフットサル部	
文連所属団体	グリークラブ	MAS	軽音楽部	囲碁将棋部	演劇部	美術部
	写真部	管弦楽団	ESS	PSM研究会	白馬診療部	北岳診療部
	漢方生薬研究会	歯科医療研究会	薬理学研究会	アカペラ部	社会科学研究部	NR陶芸部
	NRP･W･M部（軽音）	NRボランティア部	救急医療研究部	茶道部		

4－4 大学祭・寮祭等のイベント

仲間と共に過ごす時間、みんなで力を合わせて何かをつくりあげる経験は、とても有意義な一生の思い出となります。

富士吉田キャンパス寮祭	6月	6月に富士吉田キャンパスにて2日間にわたり行われ、1日目は体育大会、2日目は大学祭を行います。入学してまだ間もない学生同士が絆を深める貴重な機会となっています。
旗の台キャンパス旗ケ岡祭	10月	毎年10月、2日間にわたって開催される大学祭です。模擬店やステージイベントをはじめ、健康や医療に関する模擬体験や展示など、医療系大学ならではの催し物を行っています。また、医学部附属看護専門学校では、同期間の土・日曜日に「いぶき祭」を開催しています。
横浜キャンパス緑風祭	10月	横浜キャンパスで行われる緑風祭。小クラスの保健医療学部ならではの和気あいあいとしたアットホームなイベントは、毎年笑顔でいっぱいです。

Support 05

施設設備への寄付

本学がさらに発展し、医系総合大学として輝いて行きたい。

キャンパス整備や施設整備など
学びの場の充実のために活用されます。

PICK UP

横浜自然教育園

大学と地域の交流の場としても活動

令和6年、横浜自然教育園が開園しました。
横浜自然教育園は学生が自然環境のもとで自然と触れ合うことにより豊かな人間性を育むための教育を実践するとともに、地域へ一般開放し、大学と地域の交流の場とすることを目的としています。敷地面積約14,000㎡の中には、初雁、冬至など多数の梅が植栽されており、ほかにも、敷地内にはバラ園やベリー園も設けられ、四季折々の風景を楽しむことができます。

PICK UP

キャンパス整備

学生生活の安心安全な環境設定を第一に

学生がより良い環境で学び、暮らすことができるように、令和6年度には富士吉田キャンパスの外壁補修や屋上防水補修工事などを行いました。そして令和7年度は、長津田寮の耐震工事や内装改修工事、旗の台キャンパス1号館の外壁補修工事やゲストハウスのエアコン設置工事などを行う予定となっております。

Support 05

寄付項目

令和5年度寄付実績　4件 1,052,000円

5－1 病院施設・運営維持	老朽化した病院の維持、建て替えを見据えた環境の整備を行います。 昭和医科大学病院では、特定機能病院として高度医療および研修を提供するとともに、高度急性期医療の充実と収益率の向上を図ってまいります。
5－2 校舎建設・運営維持	旗の台キャンパスでは、既存校舎の老朽化に伴い、耐震工事を進め、学生・職員にとってより良い環境を整備しております。富士吉田キャンパスでは、新たな寮の整備や、掘削した温泉の引き込みおよび足湯の設置を行いました。また、自然教育園は学生が自然と触れ合うことにより豊かな人間性を育むため運用しております。横浜自然教育園では多数の梅やバラなどを楽しむことができ、富士吉田自然教育園ではビオトープや畑、バーベキューエリアが整備されており、交流の場として活用されています。
5－3 学生寮建設・設備維持	学生の経済的支援と、快適な学習生活を支えるため、寮のよりよい環境を整備します。 富士吉田キャンパスにおいては、親元を離れて暮らす学生により良い環境を提供するため、令和2年度に完成した百合寮に加え、令和5年度に赤松寮を建設いたしました。
5－4 職員寮建設・設備維持	福利厚生の一環として、看護師・臨床研修医をはじめ、職員のための寮を設置し、安心して働ける環境の整備を進めています。 また、一部を外国人留学生・外国人研究者のための居住施設として整備し運営しております。

PICK UP

富士吉田自然教育園

自然もさらに豊かに、着々と整備すすめて

富士吉田キャンパスの学生が自然と触れ合うことにより、心身を鍛え、豊かな人間性を育む自然環境教育等を実施することを目的に2012年にキャンパスからほど近い約6,000㎡の林地に開園しました。園内にはビオトープや畑、バーベキューエリアが整備されており、授業利用や学生と指導担任との交流の場としても活用されています。

Support 06

創立100周年記念事業
への寄付

夢、追いかけて。

昭和医科大学は2028年（令和10年）に創立100周年という大きな節目を迎えます。
創立100周年記念事業として未来につなげる事業を展開し、
教育・研究・診療のより一層の充実を目指し邁進していく所存です。

PICK UP

鷺沼キャンパス整備事業

創立100周年記念事業のひとつとして、令和9年度に開校予定である鷺沼キャンパスの整備を進めております。本事業は旗の台キャンパスの校舎整備計画の一環として行うもので、令和6年度に校舎の建設工事を着工し、令和8年度に新しい校舎が完成する予定です。新キャンパスとして医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部の2年次から4年次までの学生が充実した学生生活を送ることが出来るように学部連携の可能な学習環境を整えます。

旗の台キャンパス
整備事業

歯科病院
旗の台移転事業

藤が丘病院
再整備事業

富士吉田キャンパス
整備事業

保健医療学部
新学科等設置・再編事業

横浜キャンパス
看護専門学校設置事業

Support 06 寄付項目
6－1 創立100周年記念事業

令和５年度寄付実績 243件 190,615,000円

Support 07

大学主催行事
への寄付

昭和の絆を育み、次の世代へ伝えたい。

世代を超えて、受け継がれる昭和イズム。大学主催行事をとおしてサポートします。

大学の主な年間行事スケジュール

4月	●入学式・入寮式・入職式・新入生歓迎会 ●白衣授与式（歯）
6月	●学祖祭
7月	●夏季スポーツ大会壮行会 ●旗ヶ岡盆踊り大会
8月	●各学部オープンキャンパス ●教育者のためのワークショップ
9月	●夏季スポーツ大会報告会 ●白衣授与式（医）　●大学院秋季修了式
10月	●ホームカミングデー（旗の台キャンパス） ●ホームカミングデー（横浜キャンパス） ●解剖慰霊祭　●大学院秋季入学式
11月	●創立記念日（15 日）　●永年勤続者表彰
1月	●白衣授与式（薬・保）
2月	●国家試験（2 月～ 3 月）
3月	●卒業式・大学院修了式

Support 07 寄付項目
7－1 大学主催行事

令和５年度寄付実績 2件 150,000

Support 08

その他
への寄付

さまざまな「想い」をかたちにしたい。

具体的な使途を指定することで、細やかなサポートをします。

ブルーウィンズ

2018 年に創部された昭和医科大学女子アイスホッケークラブ「ブルーウィンズ」は、本学職員をはじめ、学生・社会人から構成されるチームです。チーム理念は「世界に通じるアイスホッケーチームであり続ける。常に高い目標を目指し、チーム活動を通し豊かな人間性と強靭な精神力を兼ね備えた世界で通用する人材を養成し、多くの人々に感動と歓びを届けることで広く社会に貢献する。」その理念のもと活動しています。

Support 08 寄付項目
8－1 その他（さまざまな用途）

令和５年度寄付実績 4件 630,000円

お申し込み方法

受付期間　特に定めておりません

ご寄付の金額　個人・法人いずれも、一口当たりの金額は定めておりません

申込・振込先

申込者
- WEB　ホームページ申し込みフォームより申し込み
- POST　同封の返信用封筒を使用
- FAX　03-3784-8012へ送信
- クレジットカード決済 ※

→ 銀行（振込） → 昭和医科大学

※クレジット決済ならお申込みも同時に行えます。

同封の振込用紙でのお支払いか、下記指定口座へ直接お振込ください。

[振込先]	[口座番号]	[口座名]
三菱UFJ銀行 わかたけ支店	普通 2497055	学校法人 昭和医科大学

※振込手数料は、ご寄付者ご本人様のご負担となりますので、ご容赦ください。
※現金書類によるご送金や大学の窓口にて現金によるご寄付も申し受けます。

【奨学寄附金の場合】

申込者
- WEB　ホームページ申し込みフォームより申し込み
- POST　同封の返信用封筒を使用
- FAX　03-3784-8012へ送信

→ 受託者（振込先の通知） → 銀行（振込） → 昭和医科大学

※2ー⑰、⑱（奨学寄附金）の場合は、ご寄付先により窓口が異なるため、申込書受領後、本学より振込先を別途通知致します。

個人情報の保護について　寄付金申込等にご記入いただいた個人情報は、適正な管理・保護に努め、本学および日本私立学校振興・共済事業団での事務処理の目的に限り使用します。

現物による寄付

機器備品や図書、昭和医科大学の歴史に関する資料（ゆかりのある品）等の現物の寄付をお考えの方は、下記連絡先までご相談ください。

旗の台キャンパス	機器備品等	財務部経理課	03-3784-8018
	書　籍	図書室	03-3784-8042
	昭和医科大学の歴史に関する資料	上條記念ミュージアム事務担当	03-3784-8031
その他施設	機器備品、書籍等	各施設管理課・事務課	

相続による寄付について

連絡先　総務部企画課　03-3784-8387

相続・遺贈によって財産を取得した方が、その取得した財産を昭和医科大学へ寄付した場合、
その寄付金額には相続税が課税されません。

相続税の申告期限は被相続人の逝去日より10ヶ月以内とされています。
申告に必要な書類の発行には、文部科学省への申請が必要となり、発行までに2ヶ月程度の時間をいただいております。
ご検討の場合は、余裕を持って昭和医科大学総務部企画課までご相談くださいますようお願い致します。

寄付に対する優遇措置

本学に対する寄付は、学校法人への寄付として税制上の優遇措置が講じられています。

個人の場合

本学は、文部科学省より寄付金控除の対象となる証明を受けておりますので、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄付金控除（税額控除）額の計算　例：月々 3,000円のご協力の場合

（寄付金合計額－2,000円）×40％＝税額控除額

寄付　月々 3,000円 →
- 寄付金合計額 年間／36,000円
- －2,000円　34,000円
- 40％　減税控除額 13,600円

→ 還元　確定申告で所得税 13,600円が還付

【所得控除制度と税額控除制度】（どちらかを選択できます）

所得控除	［寄付金額（総所得額の40％が限度）－2千円］を**総所得額から控除**
税額控除	［寄付金額（総所得額の40％が限度）－2千円］×40％を**所得税額から控除**

※所得税控除額は、その年の所得税額の25％が上限となります。

【個人住民税の寄付金による控除】

東京都、品川区、神奈川県にお住まいの方は、個人住民税の寄付金税額控除の適用も受けられます。

［寄付金額（総所得額の30％が限度）－2千円］×控除率

※控除率：道府県の指定は4％、市区町村の指定は6％、双方の指定は合計の10％となります。

寄付金の税額控除を受けるには、寄付された翌年の確定申告期間に所轄税務署で確定申告を行ってください。
※詳しい内容、手続きについては、所轄の税務署にお問い合わせください。

法人の場合

法人からの寄付金につきましては、法人税法に基づいて、当該事業年度の損金に算入することができます。
損金算入できる金額は寄付申込の種類により、下記のとおりとなります。

1 ▸ 受配者指定寄付金制度のご利用について

制度について	受配者指定寄付金制度とは、日本私立学校振興・共済事業団が、私立学校の教育研究の発展に寄与するために、寄付者（企業等）からの寄付金を受け入れ、これを寄付者が指定した学校法人へ配付するものです。寄付を行う法人は、この制度を利用することにより、寄付金全額を損金算入することができます。
手続きについて 連絡先　総務部企画課 03-3784-8387	受配者指定寄付の手続きには、本パンフレット同封の申込書に加え、日本私立学校振興・共済事業団宛の所定の寄付申込書が必要になります。ご利用の場合は総務部企画課までご連絡ください。 ※受配者指定寄付金は受領書の発行までに2ヶ月程度のお時間をいただいております。

2 ▸ 特定公益増進法人に対する寄付金

特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額は、下記のように定められております。
なお、優遇措置を受けるには、本学発行の「領収証」と「特定公益増進法人証明書（写）」が必要です。

①普通法人、協同組合等及び人格のない社団等（②に掲げるものを除きます）

$$（イ＋ロ）\times \frac{1}{2}$$

イ ＝資本金等の金額 $\times \frac{3.75}{1000} \times \frac{当該事業年度の月数}{12}$

ロ ＝所得の金額 $\times \frac{6.25}{100}$

②普通法人、協同組合等及び人格のない社団のうち資本又は出資を有しないもの、
一般財団法人及び一般社団法人（非営利型法人に該当するものに限ります）
並びにNPO法人（認定NPO法人を除きます）などのみなし公益法人等

所得の金額 $\times \frac{6.25}{100}$

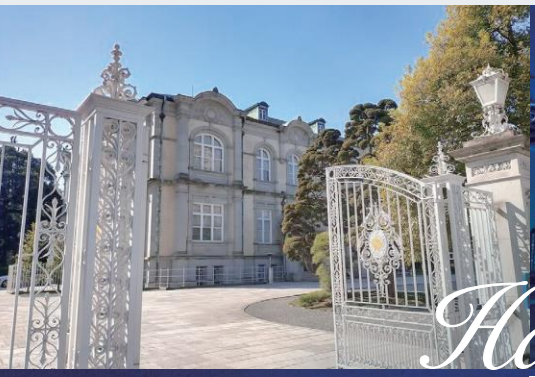
昭和医科大学

旗ケ岡倶楽部へ

ご入会されませんか？

旗ケ岡倶楽部とは、
本学の維持および発展に寄与することを目的とした組織であり、
本学の活動をより深く知っていただき、「至誠一貫」の建学の精神のもと、
将来にわたりその使命を果たすべく活動しております。

平成30年4月学校法人昭和医科大学では、
その維持および発展に寄与することを目的として『昭和医科大学旗ケ岡倶楽部』を発足いたしました。



旗ケ岡倶楽部総会

Hatagaoka Club

会員要件

学校法人昭和医科大学に
関係ある方及び一般の有志とし、
法人に醵金をいただいた方で
6年間の醵金額合計が、
- 個人会員 100万円以上
- 法人（企業・諸団体等）会員
  1,000万円以上の方

会員期間

6年間 ※更新可

会員様には年に数回開催される総会にご招待させていただきます。法人役員ならびに会員相互で懇親を深めていただくとともに、昭和医科大学の未来を創る有意義な場としたいと考えております。
またその他には、法人及び法人の設置する学校の刊行物の贈呈、諸行事へのご招待ほか、さまざまな顕彰を予定しております。
是非とも多くの方々からご賛同いただきご入会くださいますようお願い申し上げます。

皆様のご入会を
お待ちしております。

理事長
小口 勝司

お申込みはこちらから

申込・問い合わせ　学校法人 昭和医科大学 総務部秘書課 Tel:03-3784-8001 Mail:hishoka@ofc.showa-u.ac.jp